

安全データシート

ウエルノール

作成 2021年3月18日

1. 化学物質等会社情報

製品名	ウエルノール
会社	ウエルシー製薬株式会社
住所	神戸市東灘区御影3-2-11-11
電話番号	078-843-1212
緊急連絡先	ウエルシー製薬株式会社

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分2
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 1A
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性、麻酔性）
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1（肝臓）、区分 2（神経）	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示、シンボル



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激を起こす

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気やめまいのおそれ

長期暴露または反復暴露により以下の臓器に障害を生じる： 肝臓

長期暴露または反復暴露により以下の臓器に障害を生じるおそれ： 中枢神経系

注意書き： 【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を手に入ること。
- ・すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。
- ・個人用保護具を着用すること。
- ・取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。
- ・室外もしくはよく換気された場所でのみ使用すること。
- ・熱、火花、裸火、熱い面から離して保管すること-禁煙。
- ・容器は密閉して保管。
- ・受信装置と容器をしっかりと固定/接地する。
- ・耐爆電気/換気/照明/機器を使用すること。
- ・火花の出ない道具のみ使用すること。
- ・静電放電に対し、予防措置を講ずること。
- ・冷所保存

【救急処置】

- ・ばく露、もしくはその恐れがある場合、医師の治療を受けること。
- ・眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
- ・眼の刺激が続く場合、医師の治療を受けること。
- ・皮膚または髪に付着した場合、汚染されたすべての衣服をすぐに脱ぎ、水やシャワーで皮膚を洗うこと。
- ・吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸が楽な姿勢で休憩させる。
- ・火災の場合:消火には、二酸化炭素、粉末消火剤、フォームを使用する。

【保管】

- ・施錠して保管。
- ・容器をしっかりと閉め、よく換気された場所で保管。

【廃棄】

- ・内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	アルコール類
含有量	99.0 vol% 以上
官報公示整理番号	(2)-202 (化審法・安衛法)
CAS No.	64-17-5
PRT法	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、水スプレー、耐アルコールフォーム、水スプレー(水噴霧)

使ってはならない消火剤

棒状水放射

特有の消火方法

利用可能な情報はない

火災時の特有危険有害性

引火性がきわめて高い。

消火を行なう者の保護

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。その他の環境情報については12項を参照してください。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

静電気放電(有機物の蒸気を引火させうる)を避けるために必要な措置をとる。

保管

安全な保管条件

保管条件 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料 ガラス

混触禁止物質 強酸化剤

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

管理濃度 設定なし

日本産業衛生学会（2001年度版） 設定なし

米国産業衛生専門家会議（ACGIH）（2008年度版）

STEL 1000ppm

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。
- ・取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

保護具

状況に応じ、有害ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状	
色	無色
濁度	透明
性状	液体
臭い	特異臭
pH	データなし
融点・凝固点	-114.14 °C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	78.5 °C
引火点	13 °C
蒸発速度	データなし
燃焼性（固体、ガス）	データなし
燃焼又は爆発範囲	
上限：	19.0 vol%
下限：	3.3 vol%
蒸気圧	5.33 kPa
蒸気密度	1.6 (air=1)
比重・密度	0.789-0.791
溶解性	水, ジエチルエーテル：溶ける
n-オクタノール/水分配係数	-0.31
自然発火温度	363 °C

分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘度	データなし

10. 安全性及び反応性

安定性

安定性 推奨保管条件下で安定。

反応性 データなし

危険有害反応可能性

強酸化剤と接触すると発火の危険性がある。

避けるべき条件

高温と直射日光，熱、炎、火花

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

一酸化炭素(CO)，二酸化炭素(CO₂)

11. 有害性情報

急性毒性 経口 ラット LD₅₀ 6020mg/kg

眼刺激性 ヒトで角膜上皮の傷害、結膜充血は1、2日間で回復する。
強い眼刺激（区分2B）

生殖毒性 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ（区分1A）

発がん性 IARC(2010)ではエタノールをグループ1（ヒトに発がん性がある）に分類しているが、飲料としてエタノールを摂取した場合の有害性のみを根拠としているため、使用する際のエタノールのばく露有害性の判断に使用することは不適である。
またACGIH(2009)は、エタノールを動物実験のデータに基づいてA3に分類しているが、ヒトに対しては不明であるとの但し書きがあるため分類できないとした。

全身毒性 呼吸器への刺激のおそれ（区分3）

眠気又はめまいのおそれ（区分3）

ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓で、障害は脂肪変性に始まり、壊死と線維化を経て肝硬変に至る」区分1

アルコール中毒患者の禁断症状（振戦症状、てんかん、精神錯乱）区分2（神経）

長期又は反復ばく露による肝臓の障害（区分1）

長期又は反復ばく露による神経の障害のおそれ（区分2）

1 2 . 環境影響情報

水生環境急性有害性 : 甲殻類 (オオミジンコ) の 48 時間 EC50=5463.9mg/L48h 区分外

水生環境慢性有害性 : 難水溶性でなく急性毒性が低い。区分外

分解性 : 分解度 89% by B O D

魚毒性 : マスの幼魚 L C 50 11.2g/L◇24h

1 3 . 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

1 4 . 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報	消防法に従う。
海上規制情報	船舶安全法に従う。
国連番号 :	1 1 7 0
品名 :	エタノール
クラス :	3
容器等級 :	II
海洋汚染物質 :	非該当
航空規制情報	航空法に従う。
国連番号 :	1 1 7 0
品名 :	エタノール
クラス :	3
容器等級 :	II

特別の安全対策

- ・車両などによって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書、イエローカードを交付する。
 - ・運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 - ・食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 - ・その他、消防法等の法令に定めるところに従う。
-

1 5 . 適用法令

国際インベントリー

EINECS/ELINCS 収載

TSCA 収載

国内法規

消防法 危険物第四類 アルコール類 危険等級 II 水溶性

毒物及び劇物取締法 労働安全衛生法	非該当 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)No.61危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条)
危険物船舶運送 及び貯蔵規則	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
海洋汚染防止法	施行令別表第1 有害液体物質 2類物質
PRTR法	非該当
輸出貿易管理令	非該当
その他のデータ	アルコール事業法 一般アルコール

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手した情報等に基づいて作成していますので、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシートは安全保証書ではありません。本品を取り扱う場合には使用者の責任において実態に応じた適切な処置を講じてください。

以上